

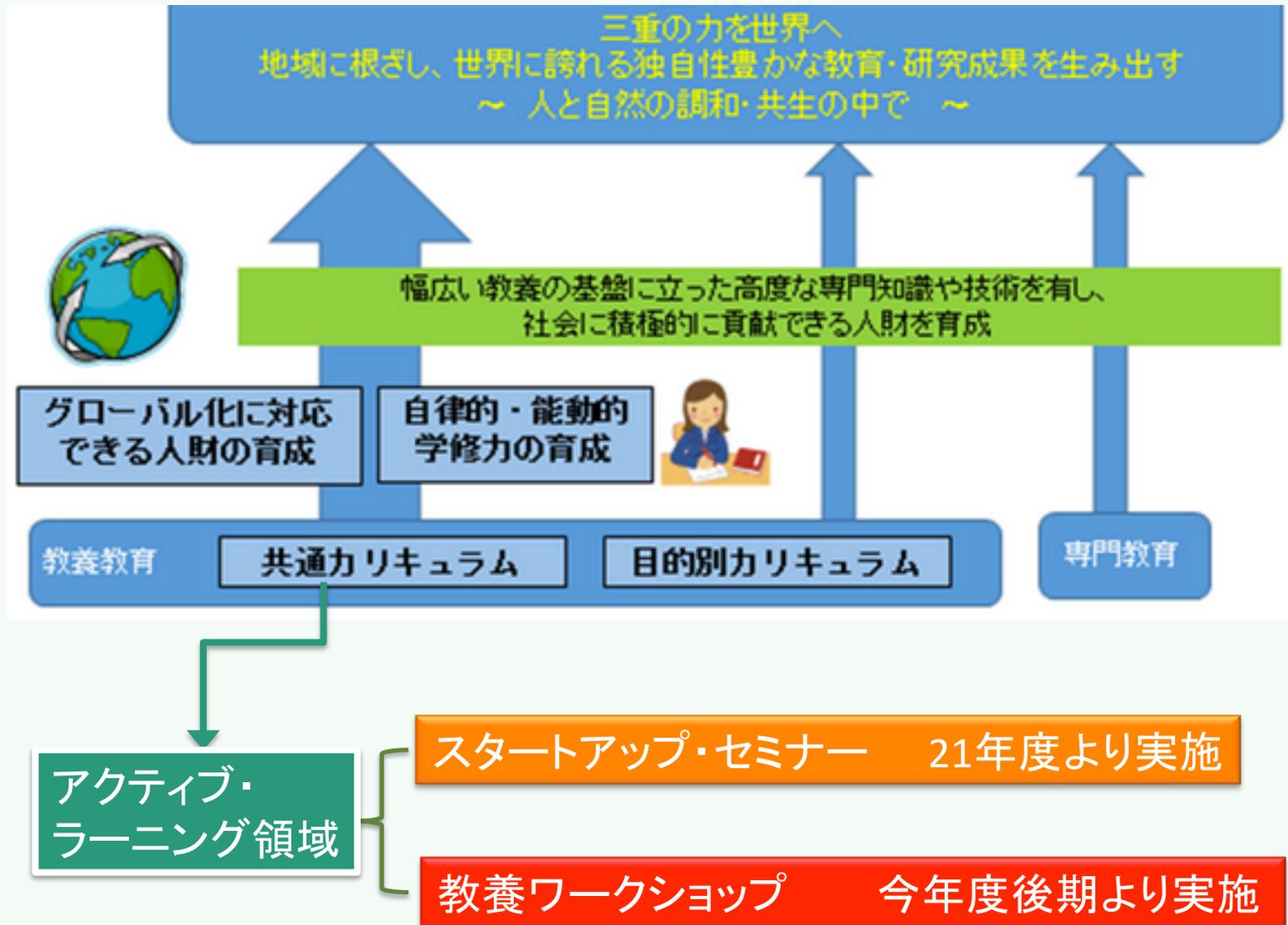
平成27～28年度 三重大学教育GP応募申請

教養教育における FD活動を軸としたPDCAサイクル

申請代表者 教養教育機構・教授
松永 守

(1) 取組の趣旨・目的

今年度発足
新教養教育

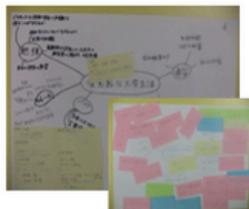


スタートアップ・セミナー(1年前期)

情報収集の
仕方



仲間との
議論の仕方



発表の方法



報告内容の
まとめ方



教養ワークショップ(1年後期)

情報収集の
幅を広げる



読む

成書の情報を
元に思考する



書く

情報発信の
幅を広げる

アウトプットを
前提に
思考する

「聞く・話す」能力の育成

- ・30(+人文18)クラス
機構教員5名(+人文18名)が担当
- ・高い評価を得てきている

「読む・書く」能力の育成

- ・47クラス 機構ほぼ全教員が担当
- ・初めての試み

- ・ 評価基準等の共通認識
- ・ 授業内容・方法の交流
- ・ 事例学習
- ・ 授業公開・参観
- ・ 改善点の検討

FD活動を軸とした
PDCAサイクル

(2) 取組の達成目標

1. FD活動の具体的内容の工夫・充実と持続

① 授業公開・参観

- 現在はSUSを除いて試行段階
- 無理のない授業公開・参観のやり方確立
- 組織的活用法を工夫

② FD研修／研修会の充実

- 研修会を一層充実
- 学外講師による研修会開催
- 学外のFD研修会に参加

2. 役割分担と連携システムの確立 — 組織的 PDCAシステムの確立

(3) 取組の具体的内容・実施体制

1. FD活動 FD委員会が企画・立案・実施／運営 教養WS担当のために機構のFDが不可欠

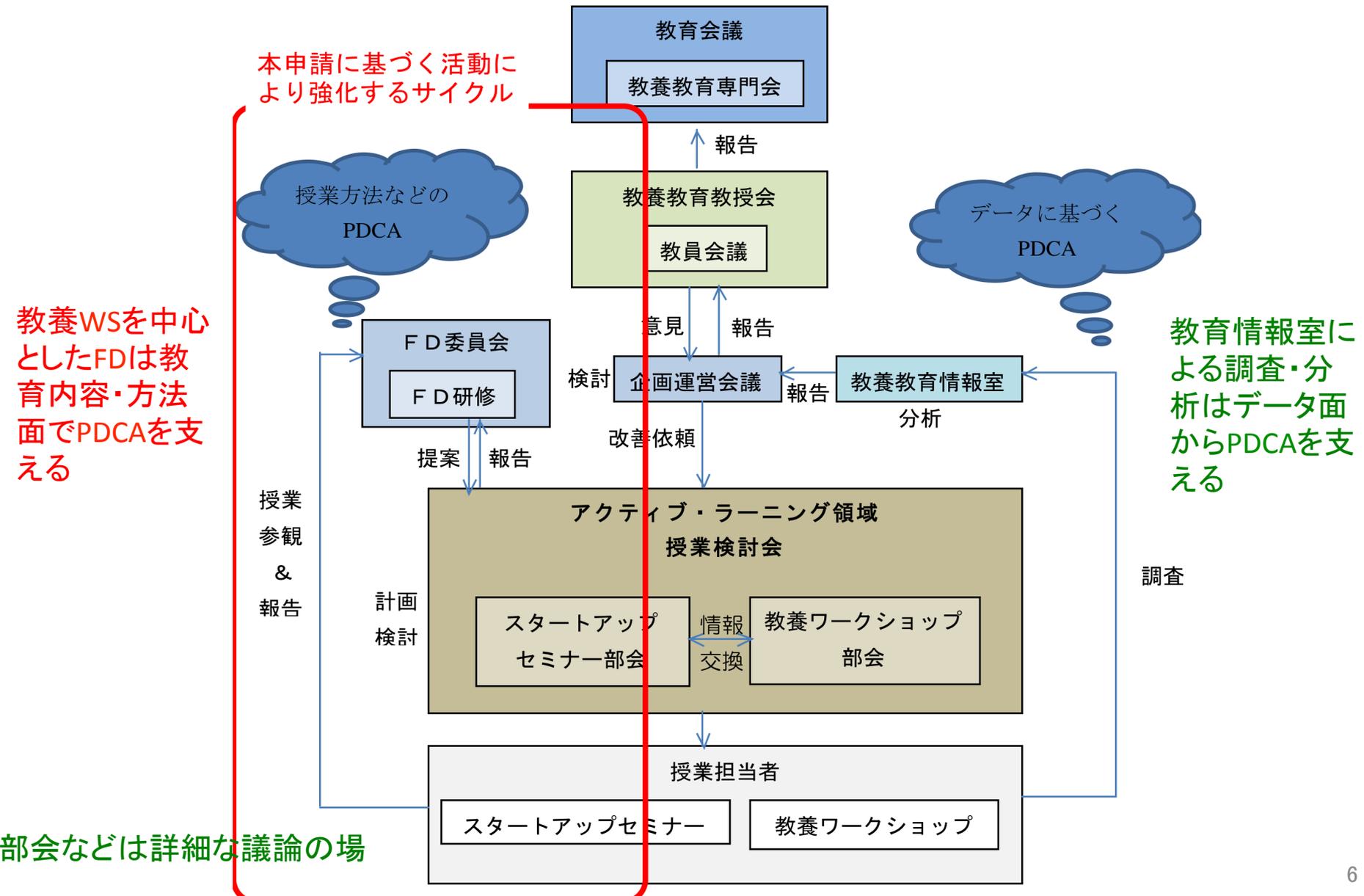
① 授業公開・参観:

- 積極的に同僚の授業から学び, 建設的批判を歓迎する風潮を徐々に
- まず試行 → 本格実施
- 公開・参観報告書も形式張らずに

② FD研修会:

- 先進事例や一般的理論から学ぶ
- 月一回の研修会が定例化
- 年間・半期の研修計画
- 学外の研修会にも参加
- 学外からの講師を招いた研修会

2. 役割分担と連携システムの確立 — 組織的PDCAシステム



(4) 評価体制・評価方法・評価結果の反映

- 全体的には、機構の企画運営会議と教授会で報告・評価
- 教養教育情報室からのデータに基づく評価
- 教員アンケート(予定)に基づく評価
- FD委員会とSUS部会, 教養WS部会において詳細な討議
 - FDのあり方の改善を検討

(5) 取組の実施計画、実現可能性

<26年度>

- ✓ FD委員会, 教養教育情報室など発足
- ✓ FD研修会の実施(計8回)

<27年度前期>

- ✓ アクティブラーニング領域授業検討会発足
- ✓ 「FD公開授業実施要領」決定
- ✓ 公開授業・参観を試行開始
- 教養WS実施直前の担当者FDワークショップ

<27年度後期>

- FD公開授業・参観を本格実施(機構全教員が公開・参観, 報告書提出・公開)
- 教養WS進行中に必要なFD研修会
- 教養WS終了直後の反省会・FD研修会(FD委, SUS, WS各部会の連携)

<28年度前期>

- 教養WS2年目に向けたFDワークショップ
- FD公開授業・参観の方法についての検討

<28年度後期>

- 2年間のFD活動の総括(教員アンケートなどの実施)
- 報告書作成

他大学(のFD)

参加
講師

FD活動を軸とした

FD
研修会

- 授業内容・方法の交流
- 事例などの学習
- 授業公開・参観・報告
- 部会等による改善点の検討

機構外に向けた
成果発信

PDCAサイクル

全教員が参加

とくに教養WS